

Title	新教育課程とは
Author(s)	川内, 正
Citation	高大連携物理・化学教育セミナー報告書. 2018, 29
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67769
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

【高大連携企画 セミナー】

「新教育課程における高大接続」

新教育課程とは

大阪大学 全学教育推進機構
川内 正

1 教育改革の流れ

中央教育審議会答申 H26.12.22

高大接続システム改革会議 H27.1.16～最終報告 H28.3.31

理科ワーキンググループ H27.11.10～審議の取りまとめ(報告)H28.8.26

その後も、共通テスト、個別テストについて検討

最新情報：高大接続改革の実施方針等の策定について（平成 29 年 7 月 13 日）

2 授業改革

「知識・技能を受動的に習得する能力が重視されたこれまでの時代の教育」から、
“混とんとした状況の中で新たな価値を創造していく資質や能力を育む教育”へ

高校

学力の三要素 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体性を持って協働して学ぶ態度
「進捗状況」(H29.5.16)では

『生徒の資質・能力を育成する「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)
の視点による学びの改善)について、学習指導要領と一体で議論』

大学

一方的な知識の伝達にとどまる授業も見られる、学生の力を伸ばしているかの社会からの
評価も厳しい。

能動的学習の方法を身に付けてきた多様な入学者の力を更に向上させる。

ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの3ポリシーに基づく大学教育。

育成を目指す人材像やそのための具体的な教育活動について明確化・可視化。

スタッフ・ディベロップメントの機会を充実。

3 入試改革

スケジュール (高大接続システム改革会議最終報告 H28.3.31)

4 詳細

求められる学習過程 理科ワーキンググループ審議まとめ H28.8.26 資料 5

共通テスト/個別テスト では記述式重視 (現中3生の大学入試(H33入試)から)

調査書(指導要録)に評価を詳しく記載 調査書の枚数制限撤廃

5 学習指導要領の改訂

新指導要領 高校は平成 34 年度から年次進行

学習指導要領の項目は大きくは変わらないが、教科書の見た目は変わる

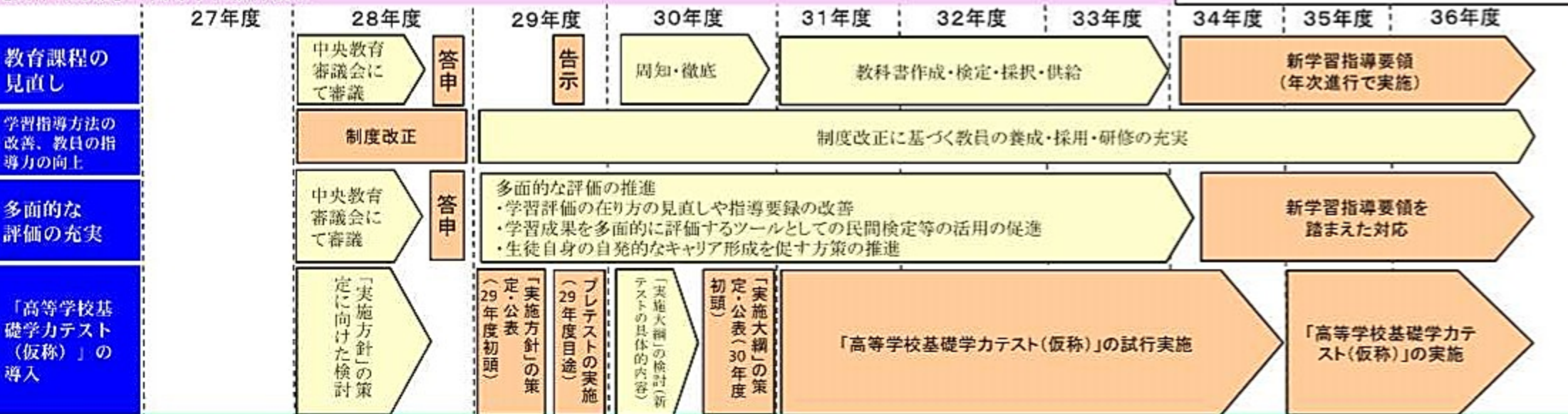
中学の例

以上のような教育改革の時代に学んできた高校生は大学でどのように発展するのか、これを、生徒を大学に送る高校の立場から、また、生徒を受け取る大学の立場から、考えたい。

高大接続システム改革のスケジュール

高大接続システム改革会議「最終報告」(平成28年3月31日)より

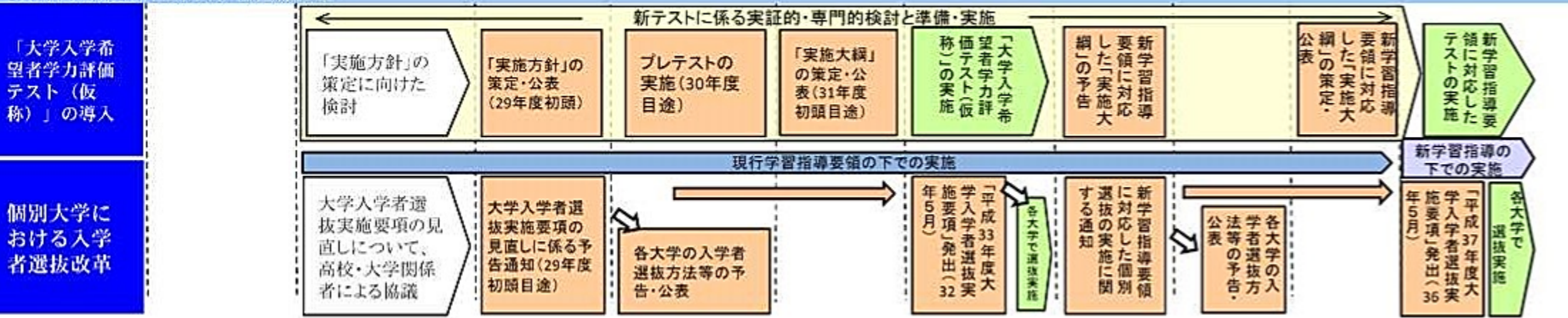
【具体的方策】1. 高等学校教育改革



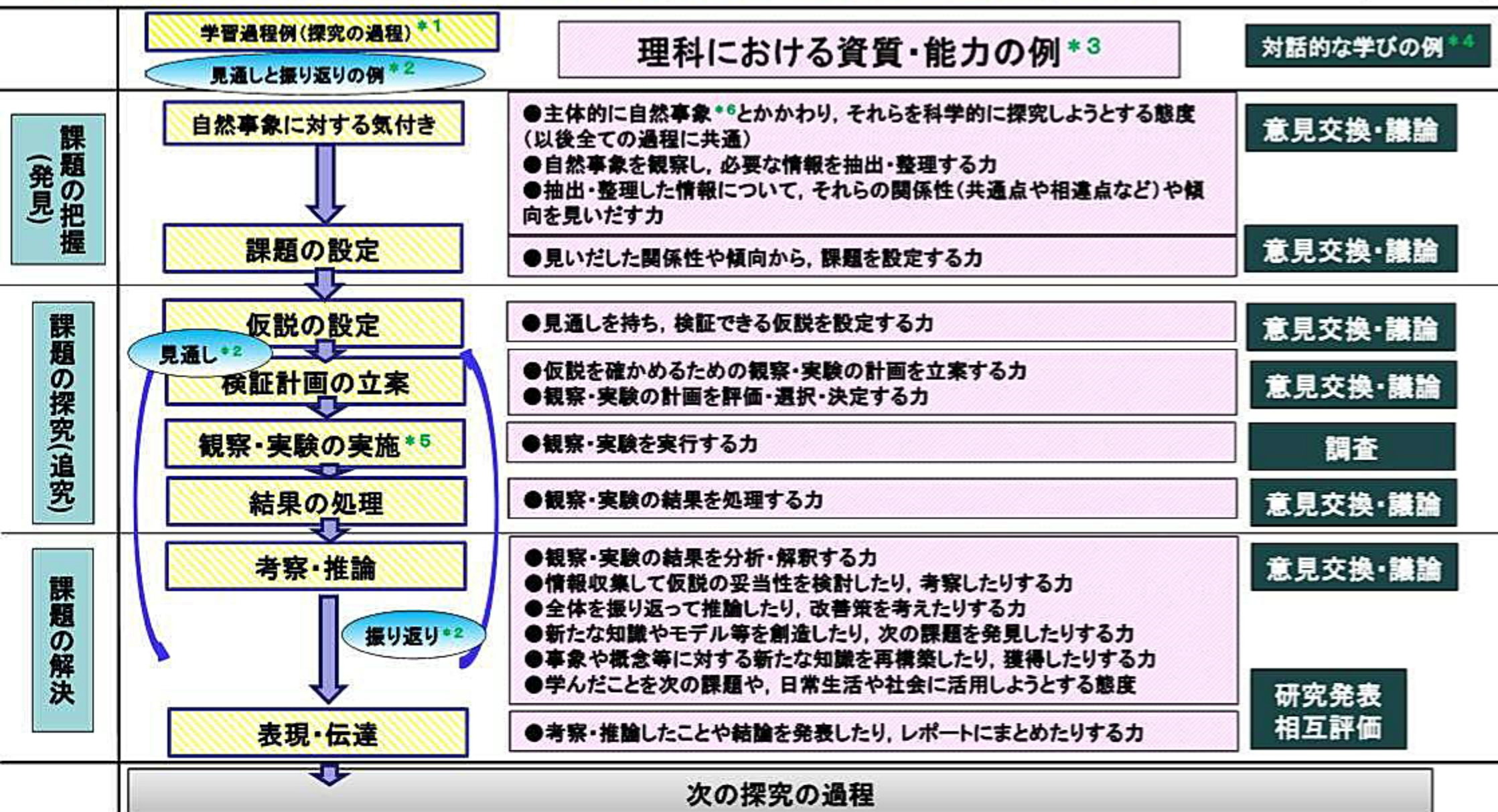
【具体的方策】2. 大学教育改革



【具体的方策】3. 大学入学者選抜改革



資質・能力を育成するために重視すべき学習過程のイメージ(高等学校基礎科目の例*7)



*1 探究の過程は、必ずしも一方向の流れではない。また、授業では、その過程の一部を扱ってもよい。

*2 「見通し」と「振り返り」は、学習過程全体を通してのみならず、必要に応じて、それぞれの学習過程で行うことも重要である。

*3 全ての学習過程において、今までに身に付けた資質・能力や既習の知識・技能を活用する力が求められる。

*4 意見交換や議論の際には、あらかじめ個人で考えることが重要である。また、他者とのかかわりの中で自分の考えをより妥当なものにする力が求められる。

*5 単元内容や題材の関係で観察・実験が扱えない場合も、調査して論理的に検討を行うなど、探究の過程を経ることが重要である。

*6 自然事象には、日常生活に見られる事象も含まれる。

*7 小学校及び中学校においても、基本的には高等学校の例と同様の流れで学習過程を捉えることが必要である。